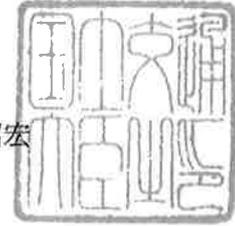


# 認定書

国住指第 496 号  
平成 27 年 7 月 8 日

旭化成建材株式会社  
代表取締役社長 前田 富弘 様

国土交通大臣 太田 昭宏



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第八号並びに同法施行令第 108 条第一号及び第二号（外壁（耐力壁）：各 30 分間）の規定に適合するものであることを認める。

## 記

1. 認定番号  
PC030BE-3504(10)
2. 認定をした構造方法等の名称  
フェノールフォーム保温板充てん／窯業系サイディング・フェノールフォーム保温板・火山性ガラス質複層板表張／せっこうボード裏張／木製軸組造外壁
3. 認定をした構造方法等の内容  
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

(別添)

1. 構造名

(10) フェノールフォーム保温板充てん/窯業系サイディング・フェノールフォーム保温板・火山性ガラス質複層板表張/せっこうボード裏張/木製軸組造外壁

2. 寸法及び形状等

(寸法単位: mm)

項目	仕様
壁高	構造計算等によって構造安全性が確かめられた寸法
壁厚	129 以上
壁の構造	真壁又は大壁

3. 材料構成

(1) 主構成材料

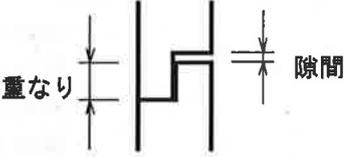
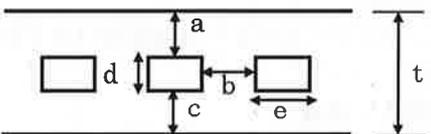
(寸法単位: mm)

項目	仕様
柱(荷重支持部材)	材料: (1)~(4)のうち、いずれか一仕様 (1)平成12年建設省告示第1452号に規定する構造用製材(JAS) (2)平成13年国土交通省告示第1024号に規定する構造用集成材(JAS) (3)平成13年国土交通省告示第1024号に規定する単板積層材(JAS) (4)平成12年建設省告示第1452号に規定する無等級材 ・断面寸法: 105×105 以上 ・間隔: 4000 以下 ・比重: 0.35(±0.04)以上 ・欠き込み寸法(真壁仕様で、柱に内装材固定用の欠き込みを設ける場合) 欠き込み深さ: 10~24 欠き込み幅: 内装材厚さ+3 以下

つづく

項 目	仕 様																													
間柱	材料：(1)～(3)のうち、いずれか一仕様 (1)製材 (2)集成材 (3)単板積層材 ・断面寸法：27×60以上 ・間隔：500以下																													
外装材	<p>[1]基材            窯業系サイディング（以下「サイディング」という。）            ・規格：JIS A 5422            ・組成（質量％）</p> <table border="0" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">{</td> <td>けい酸カルシウム化合物</td> <td style="text-align: right;">65～86</td> </tr> <tr> <td></td> <td>有機質繊維</td> <td style="text-align: right;">1～13</td> </tr> <tr> <td></td> <td>無機質繊維</td> <td style="text-align: right;">0～4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>有機質混和材</td> <td style="text-align: right;">14 未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td>無機質混和材</td> <td style="text-align: right;">27 未満</td> </tr> </table> <p>ただし、有機質繊維と有機質混和材の合計が 18 質量％を超えないこと。</p> <p>※サイディングに使用されている繊維質原料と混和材の例</p> <p>●繊維質原料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有機質：セルロース繊維、ポリビニルアルコール繊維、ポリプロピレン繊維等</li> <li>・無機質：ガラス繊維、ロックウール繊維等</li> </ul> <p>●混和材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有機質：リグニン、メチルセルロース、撥水剤等</li> <li>・無機質：パーライト、炭酸カルシウム、マイカ等</li> </ul> <p>[2]表面塗装</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・種類：(1)～(6)のうち、いずれか一仕様</li> <li>(1) アクリルウレタン樹脂系塗装</li> <li>(2) アクリル樹脂系塗装</li> <li>(3) アクリルシリコン樹脂系塗装</li> <li>(4) フッ素樹脂系塗装</li> <li>(5) エポキシ樹脂系塗装</li> <li>(6) 無機質系塗装</li> <li>・塗布量：200g/m<sup>2</sup>以下（有機固形分）</li> </ul> <p>[3]かさ比重            1.1(±0.2)（絶乾）</p> <p>[4]形状            (1) 寸法</p> <table border="1" style="margin-left: 40px; width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">厚 さ</th> <th colspan="2">幅</th> <th colspan="2">長 さ</th> </tr> <tr> <th>最 小</th> <th>最 大</th> <th>最 小</th> <th>最 大</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15～26</td> <td>303</td> <td>455</td> <td>910</td> <td>3640</td> </tr> </tbody> </table>	{	けい酸カルシウム化合物	65～86		有機質繊維	1～13		無機質繊維	0～4		有機質混和材	14 未満		無機質混和材	27 未満	厚 さ	幅		長 さ		最 小	最 大	最 小	最 大	15～26	303	455	910	3640
{	けい酸カルシウム化合物	65～86																												
	有機質繊維	1～13																												
	無機質繊維	0～4																												
	有機質混和材	14 未満																												
	無機質混和材	27 未満																												
厚 さ	幅		長 さ																											
	最 小	最 大	最 小	最 大																										
15～26	303	455	910	3640																										

つづき

項 目	仕 様																										
外装材 (つづき)	<p>(2) 端部形状 サイディング相互の重なりと隙間</p> <table border="1" data-bbox="491 353 1056 434"> <thead> <tr> <th>厚 さ</th> <th>重なり</th> <th>隙 間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15~26</td> <td>6以上</td> <td>3以下</td> </tr> </tbody> </table>  <p>(3) 断面形状</p> <table border="1" data-bbox="491 537 1444 761"> <thead> <tr> <th>厚 さ</th> <th>模様深さ</th> <th>容積欠損率 (%)</th> <th>※中空率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15~26</td> <td>最小厚さ11以上を確保</td> <td>11以下 (ただし、板厚15を超える場合は裏面から15の位置での欠損率とする。)</td> <td>34以下 (ただし、板厚18を超える場合は厚さを増した分だけ、dの中空部の高さを増し中空率をあげることができる。)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※中空の形状</p>  <table border="1" data-bbox="518 1019 1436 1102"> <thead> <tr> <th>厚さ t</th> <th>a</th> <th>b</th> <th>c</th> <th>d</th> <th>e</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>18以上</td> <td>5以上</td> <td>3.5以上</td> <td>4以上</td> <td>t-(a+c)</td> <td>t以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>ただし、厚さ 18 を超える場合、厚さを増した分だけ d の長さを増すことができる。</p> <p>[5] 張方 横張</p> <p>[6] 留め方 金具留め (外装材留金具による。)</p>	厚 さ	重なり	隙 間	15~26	6以上	3以下	厚 さ	模様深さ	容積欠損率 (%)	※中空率 (%)	15~26	最小厚さ11以上を確保	11以下 (ただし、板厚15を超える場合は裏面から15の位置での欠損率とする。)	34以下 (ただし、板厚18を超える場合は厚さを増した分だけ、dの中空部の高さを増し中空率をあげることができる。)	厚さ t	a	b	c	d	e	18以上	5以上	3.5以上	4以上	t-(a+c)	t以下
厚 さ	重なり	隙 間																									
15~26	6以上	3以下																									
厚 さ	模様深さ	容積欠損率 (%)	※中空率 (%)																								
15~26	最小厚さ11以上を確保	11以下 (ただし、板厚15を超える場合は裏面から15の位置での欠損率とする。)	34以下 (ただし、板厚18を超える場合は厚さを増した分だけ、dの中空部の高さを増し中空率をあげることができる。)																								
厚さ t	a	b	c	d	e																						
18以上	5以上	3.5以上	4以上	t-(a+c)	t以下																						
構造用面材	材料：火山性ガラス質複層板 (JIS A 5440) ・厚さ：9 以上																										

つづく

つづき

項 目	仕 様
充てん用断熱材	<p>材料：フェノールフォーム保温板(JIS A 9511)又はフェノールフォーム断熱材(JIS A 9521)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・形状：平板</li> <li>・厚さ：25(±2)以上(ただし、柱断面寸法以下)</li> <li>・密度(基材)：24(±3)～45(±5) kg/m<sup>3</sup></li> <li>・面材(基材の両面に設置)：(1)～(6)のうち、いずれか一仕様               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)ポリエステル系不織布                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・単位面積重量：10～60g/m<sup>2</sup></li> </ul> </li> <li>(2)ポリプロピレン系不織布                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・単位面積重量：10～60g/m<sup>2</sup></li> </ul> </li> <li>(3)ポリエチレン加工紙                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・単位面積重量：10～60g/m<sup>2</sup></li> </ul> </li> <li>(4)はり合せアルミニウムはく</li> <li>(5)無機系の加工紙(けい酸マグネシウム紙、ガラス繊維紙、アルミニウムはく・ガラス繊維複合紙)</li> <li>(6)なし</li> </ul> </li> </ul>
外張付加断熱材	<p>材料：フェノールフォーム保温板(JIS A 9511)又はフェノールフォーム断熱材(JIS A 9521)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・形状：平板</li> <li>・厚さ：12(±2)～210(±8)</li> <li>・密度(基材)：24(±3)～45(±5) kg/m<sup>3</sup></li> <li>・面材(基材の両面に設置)：(1)～(6)のうち、いずれか一仕様               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)ポリエステル系不織布                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・単位面積重量：10～60g/m<sup>2</sup></li> </ul> </li> <li>(2)ポリプロピレン系不織布                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・単位面積重量：10～60g/m<sup>2</sup></li> </ul> </li> <li>(3)ポリエチレン加工紙                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・単位面積重量：10～60g/m<sup>2</sup></li> </ul> </li> <li>(4)はり合せアルミニウムはく</li> <li>(5)無機系の加工紙(けい酸マグネシウム紙、ガラス繊維紙、アルミニウムはく・ガラス繊維複合紙)</li> <li>(6)なし</li> </ul> </li> </ul>
内装材	<p>材料：(1)又は(2)のいずれか一仕様</p> <p>(1)せっこうボード</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格：JIS A 6901 GB-R</li> <li>・厚さ：9.5以上</li> </ul> <p>(2)強化せっこうボード</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格：JIS A 6901 GB-F</li> <li>・厚さ：12.5以上</li> </ul> <p>・端部形状：1)～3)のうち、いずれか一仕様</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1)スクエア</li> <li>2)テーパ</li> <li>3)ベベル</li> </ol>

## (2) 副構成材料

(寸法単位：mm)

項 目	仕 様
通気胴縁	材料：(1)～(4)のうち、いずれか一仕様 (1)製材 (2)合板 (3)集成材 (4)単板積層材 ・断面寸法：厚さ9～40、幅30以上(柱部は幅30以上2枚又は幅60以上1枚。1枚とする場合は、留付材の留付間隔ごとに留付本数を2本以上とする。) ・間隔：500以下
防水紙	材料：(1)～(3)のうち、いずれか一仕様 (1)アスファルトフェルト ・規格：JIS A 6005 ・単位面積質量の呼び：430以下 (2)透湿防水シート ・規格：JIS A 6111 ・厚さ：0.2以下 ・材質：1)～3)のうち、いずれか一仕様 1)ポリエチレン系 2)ポリエステル系 3)ポリプロピレン系 ・表面アルミニウム蒸着仕上げ：1)又は2)のいずれか一仕様 1)あり 2)なし (3)なし
防湿気密フィルム	材料：(1)～(4)のうち、いずれか一仕様 (1)住宅用プラスチック系防湿フィルム ・規格：JIS A 6930 ・厚さ：0.2以下 (2)包装用ポリエチレンフィルム ・規格：JIS Z 1702 ・厚さ：0.2以下 (3)農業用ポリエチレンフィルム ・規格：JIS K 6781 ・厚さ：0.2以下 (4)なし
補助棧 (外張付加断熱材の厚さが105を超える場合設置:105以下は必要に応じて設置)	材料：(1)～(4)のうち、いずれか一仕様 (1)製材 (2)合板 (3)集成材 (4)単板積層材 ・断面寸法：15×30以上 ・間隔：500以下
内装受材(真壁仕様で、柱に内装材固定用の欠き込みを設けない場合)	材料：(1)～(4)のうち、いずれか一仕様 (1)製材 (2)合板 (3)集成材 (4)単板積層材 ・断面寸法：15×15以上 ・間隔：4000以下

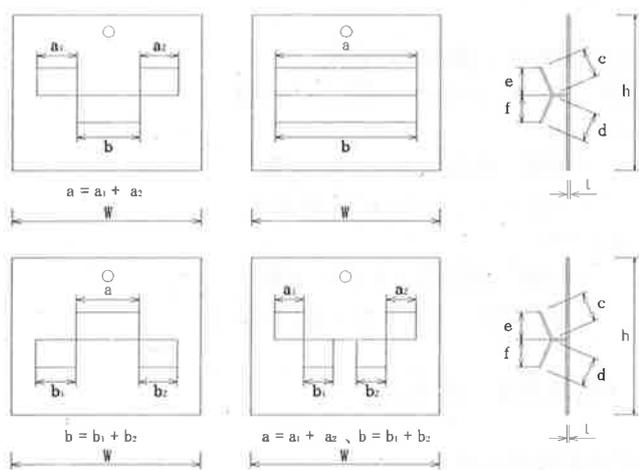
つづく

つづき

項 目	仕 様
外装目地材	<p>材料：(1)、(3)、(4)、(1)と(2)の併用、(1)と(3)の併用又は(5)のうち、いずれか一仕様</p> <p>(1)シーリング材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質：1)～6)のうち、いずれか一仕様</li> <li>1)ポリウレタン系樹脂</li> <li>2)アクリルウレタン系樹脂</li> <li>3)ポリサルファイド系樹脂</li> <li>4)変成ポリサルファイド系樹脂</li> <li>5)シリコーン系樹脂</li> <li>6)変成シリコーン系樹脂</li> <li>・使用量：56g/m以上</li> </ul> <p>(2)バックアップ材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質：1)～5)のうち、いずれか一仕様</li> <li>1)ポリエチレン系樹脂</li> <li>2)ポリスチレン系樹脂</li> <li>3)ポリウレタン系樹脂</li> <li>4)ポリプロピレン系樹脂</li> <li>5)塩化ビニル系樹脂</li> <li>・使用量：2g/m以上</li> </ul> <p>(3)ハット形ジョイナー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質：1)～10)のうち、いずれか一仕様</li> <li>1)熔融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302)</li> <li>2)塗装熔融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3312)</li> <li>3)熔融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板(JIS G 3317)</li> <li>4)塗装熔融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板(JIS G 3318)</li> <li>5)熔融 55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3321)</li> <li>6)塗装熔融 55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3322)</li> <li>7)ポリ塩化ビニル被覆金属板(JIS K 6744)</li> <li>8)熱間圧延ステンレス鋼板(JIS G 4304)</li> <li>9)冷間圧延ステンレス鋼板(JIS G 4305)</li> <li>10)熔融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板 (指定建築材料国土交通省大臣認定第 MSTL-0064 号, 0065 号, 0069 号, 0070 号)</li> <li>・厚さ：0.25 以上</li> </ul> <p>(4)金属ジョイナー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質：(3)の 1)～10)のうち、いずれか一仕様</li> <li>・形状：ハット形、H形</li> <li>・厚さ：0.25 以上</li> </ul> <p>(5)なし</p>
内装目地材	<p>材料：(1)、(2)又は(2)と(3)の併用のうち、いずれか一仕様</p> <p>(1)なし</p> <p>(2)せっこうボード用目地処理材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用量：100g/m以上</li> </ul> <p>(3)ジョイントテープ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質：ガラスファイバーテープ</li> <li>・寸法：幅 50、厚さ 0.15～0.20</li> </ul>

つづく

つづき

項 目	仕 様
留付材	<p>[1]外装材留金具</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>材質：(1)～(10)のうち、いずれか一仕様             <ol style="list-style-type: none"> <li>溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302)</li> <li>塗装溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3312)</li> <li>溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板(JIS G 3317)</li> <li>塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板(JIS G 3318)</li> <li>溶融 55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3321)</li> <li>塗装溶融 55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3322)</li> <li>ポリ塩化ビニル被覆金属板(JIS K 6744)</li> <li>熱間圧延ステンレス鋼板(JIS G 4304)</li> <li>冷間圧延ステンレス鋼板(JIS G 4305)</li> <li>溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板 (指定建築材料国土交通省大臣認定第 MSTL-0064 号, 0065 号, 0069 号, 0070 号)</li> </ol> </li> <li>形状：             <div style="text-align: center;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>w : 幅 40 以上</li> <li>h : 高さ 40 以上</li> <li>w + h : 幅と高さの合計 90 以上</li> <li>t : 鋼板の厚さ 0.8 以上</li> <li>a : 上部ツメの幅 15.8 以上</li> <li>b : 下部ツメの幅 14.0 以上</li> <li>c : 上部ツメの長さ 4.2 以上</li> <li>d : 下部ツメの長さ 4.6 以上</li> <li>e : 上部ツメの掛かり高さ 4.0 以上</li> <li>f : 下部ツメの掛かり高さ 4.2 以上</li> </ul> <p>上部と下部のツメの総掛かり面積 175mm<sup>2</sup>以上[(a × e) + (b × f)]</p> </li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>留付間隔：横方向 500 以下 高さ方向 外装材の幅による</li> </ul>

つづく

つづき

項 目	仕 様
留付材 (つづき)	<p>[2]外装材留金具固定用 材料：(1)～(3)のうち、いずれか一仕様</p> <p>(1)スクリークぎ ・材質：鉄又はステンレス鋼 ・寸法：φ1.9以上×L32以上</p> <p>(2)リングくぎ ・材質：鉄又はステンレス鋼 ・寸法：φ1.9以上×L32以上</p> <p>(3)タッピンねじ ・材質：鋼又はステンレス鋼 ・呼び寸法：φ3.0以上×L25以上</p> <p>・留付間隔：500以下</p> <p>[3]通気胴縁・補助棧固定用 材料：(1)又は(2)のいずれか一仕様</p> <p>(1)くぎ ・材質：鉄又はステンレス鋼 ・寸法：φ2.45以上×L45以上</p> <p>(2)ビス ・材質：鋼又はステンレス鋼 ・呼び寸法：φ3.0以上×L38以上</p> <p>・留付間隔：500以下</p> <p>[4]内装材固定用 材料：(1)又は(2)のいずれか一仕様</p> <p>(1)くぎ ・材質：鉄又はステンレス鋼 ・寸法：φ1.9以上×L32以上</p> <p>(2)ビス ・材質：鋼又はステンレス鋼 ・呼び寸法：φ3.0以上×L25以上</p> <p>・留付間隔：200以下</p> <p>[5]構造用面材・内装受材固定用 材料：(1)又は(2)のいずれか一仕様</p> <p>(1)くぎ ・材質：鉄又はステンレス鋼 ・寸法：φ2.15以上×L38以上</p> <p>(2)ビス ・材質：鋼又はステンレス鋼 ・呼び寸法：φ3.0以上×L25以上</p> <p>・留付間隔：500以下</p>

つづく

つづき

項 目	仕 様
留付材 (つづき)	<p>[6]断熱材固定用</p> <p>材料：(1)～(7)のうち、いずれか一仕様</p> <p>(1)くぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質：鉄又はステンレス鋼</li> <li>・寸法：φ1.9以上×L32以上</li> </ul> <p>(2) (片面・両面) 粘着層付きテープ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質：(1)～(7)のうち、いずれか一仕様</li> <li>1) ブチルゴム系</li> <li>2) EPDM ゴム系</li> <li>3) アクリル系</li> <li>4) ポリエステル系</li> <li>5) アスファルト系</li> <li>6) ポリエチレン系</li> <li>7) ポリプロピレン系</li> <li>・使用量：1)～4) 420g/m<sup>2</sup>以下</li> <li>5)～7) 280g/m<sup>2</sup>以下</li> </ul> <p>(3) アルミニウムはく・粘着層付きテープ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質：(1)～(3)のうち、いずれか一仕様</li> <li>1) ポリエステル系</li> <li>2) ポリエチレン系</li> <li>3) ポリプロピレン系</li> <li>・使用量：1) 420g/m<sup>2</sup>以下</li> <li>2)～3) 280g/m<sup>2</sup>以下</li> </ul> <p>(4) スプレーのり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質：合成ゴム系樹脂</li> <li>・使用量：100g/m<sup>2</sup>以下</li> </ul> <p>(5) 接着剤</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質：(1)～(8)のうち、いずれか一仕様</li> <li>1) エポキシ系樹脂</li> <li>2) 酢酸ビニル系樹脂</li> <li>3) ゴム系</li> <li>4) アクリルウレタン系樹脂</li> <li>5) ポリウレタン系樹脂</li> <li>6) 変成シリコン系樹脂</li> <li>7) EVA 系樹脂</li> <li>8) クラタック系樹脂</li> <li>・使用量：400g/m<sup>2</sup>以下</li> </ul> <p>(6) ステープル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質：鉄又はステンレス鋼</li> <li>・寸法：肩幅9.6以上、足長10以上</li> </ul> <p>(7) なし</p>

つづく

## つづき

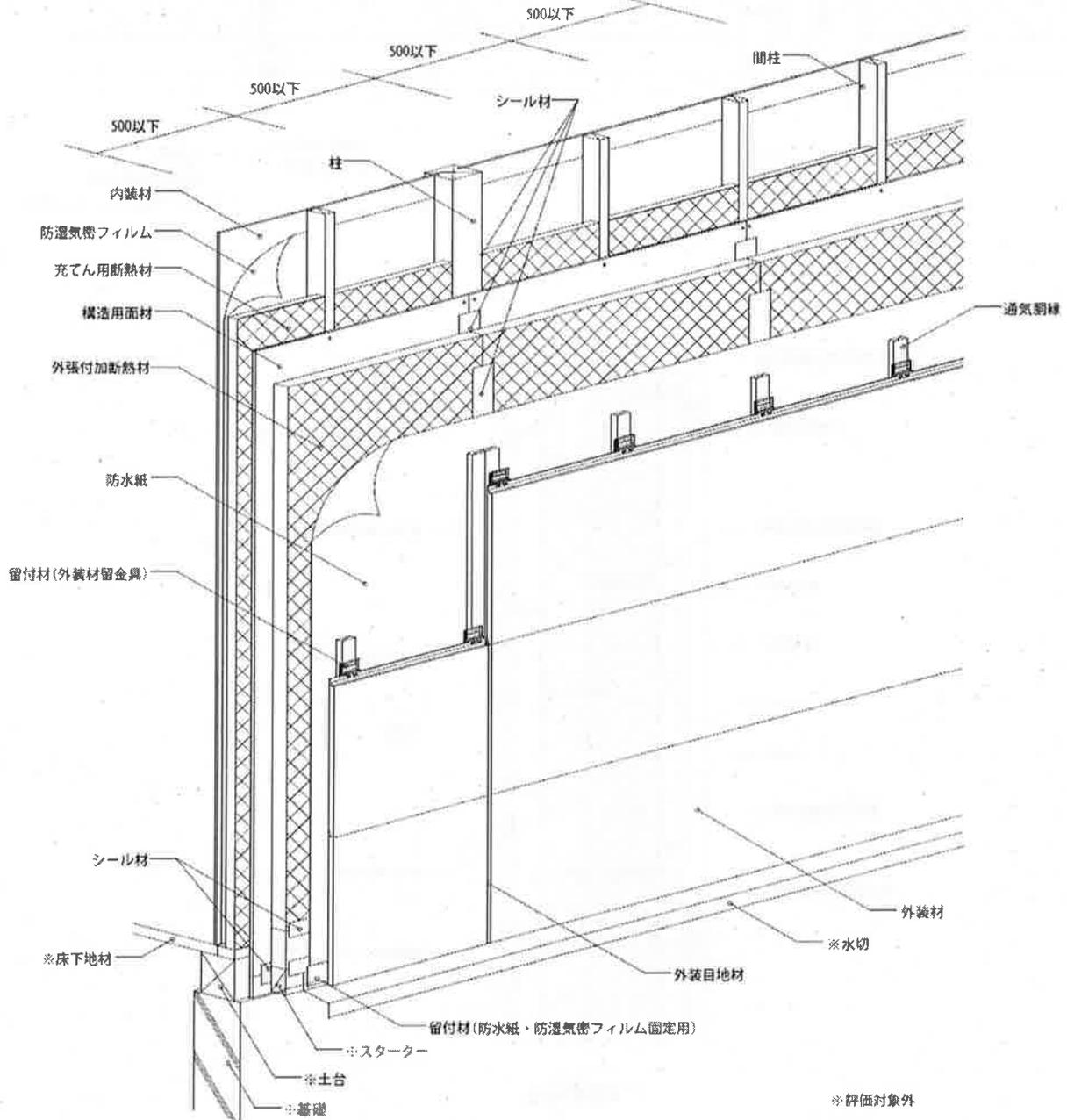
項 目	仕 様
留付材 (つづき)	<p>[7]防水紙・防湿気密フィルム固定用 材料：(1)～(5)のうち、いずれか一仕様</p> <p>(1)ステープル ・材質：鉄又はステンレス鋼 ・寸法：肩幅9.6以上、足長10以上</p> <p>(2) (片面・両面) 粘着層付きテープ ・材質：1)～7)のうち、いずれか一仕様 1) ブチルゴム系 2) EPDM ゴム系 3) アクリル系 4) ポリエステル系 5) アスファルト系 6) ポリエチレン系 7) ポリプロピレン系 ・使用量：1)～4) 220g/㎡以下 5)～7) 150g/㎡以下</p> <p>(3) アルミニウムはく・粘着層付きテープ ・材質：1)～3)のうち、いずれか一仕様 1) ポリエステル系 2) ポリエチレン系 3) ポリプロピレン系 ・使用量：1) 220g/㎡以下 2)～3) 150g/㎡以下</p> <p>(4) スプレーのり ・材質：合成ゴム系樹脂 ・使用量：100g/㎡以下</p> <p>(5) なし</p>
シール材	<p>材料：(1)～(4)のうち、いずれか一仕様</p> <p>(1) (片面・両面) 粘着層付きテープ ・材質：1)～7)のうち、いずれか一仕様 1) ブチルゴム系 2) EPDM ゴム系 3) アクリル系 4) ポリエステル系 5) アスファルト系 6) ポリエチレン系 7) ポリプロピレン系 ・使用量：1)～4) 120g/m 以下 5)～7) 80g/m 以下</p> <p>(2) アルミニウムはく・粘着層付きテープ ・材質：1)～3)のうち、いずれか一仕様 1) ポリエステル系 2) ポリエチレン系 3) ポリプロピレン系 ・使用量：1) 120g/m 以下 2)～3) 80g/m 以下</p> <p>(3) シール材 ・材質：1)～6)のうち、いずれか一仕様 1) ポリウレタン系樹脂 2) アクリルウレタン系樹脂 3) ポリサルファイド系樹脂 4) 変成ポリサルファイド系樹脂 5) シリコーン系樹脂 6) 変成シリコーン系樹脂 ・使用量：100g/m 以下</p> <p>(4) なし</p>

#### 4. 構造説明図

図 1～8 に構造説明図を示す。

(1) 構造用面材：あり、内装材：真壁(切欠き仕様)、断熱材：充てん+外張付加

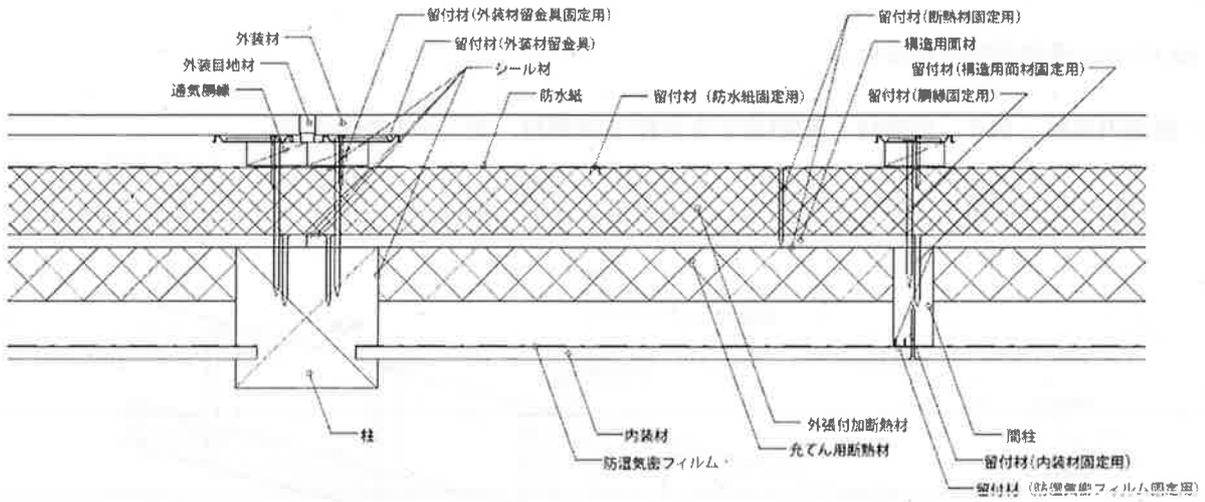
(寸法単位：mm)



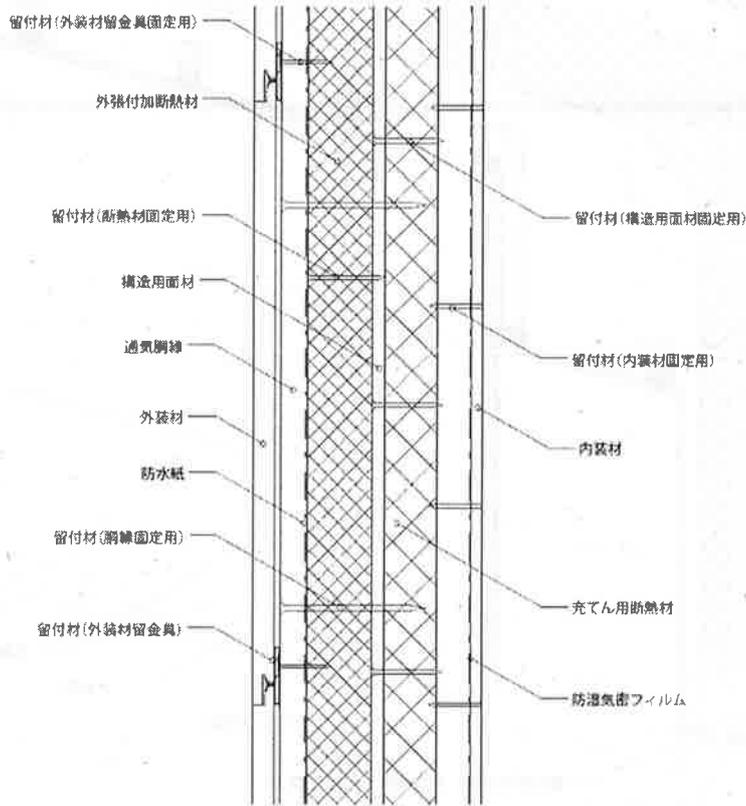
透視図

図 1 構造説明図

(別添-11)



水平断面図



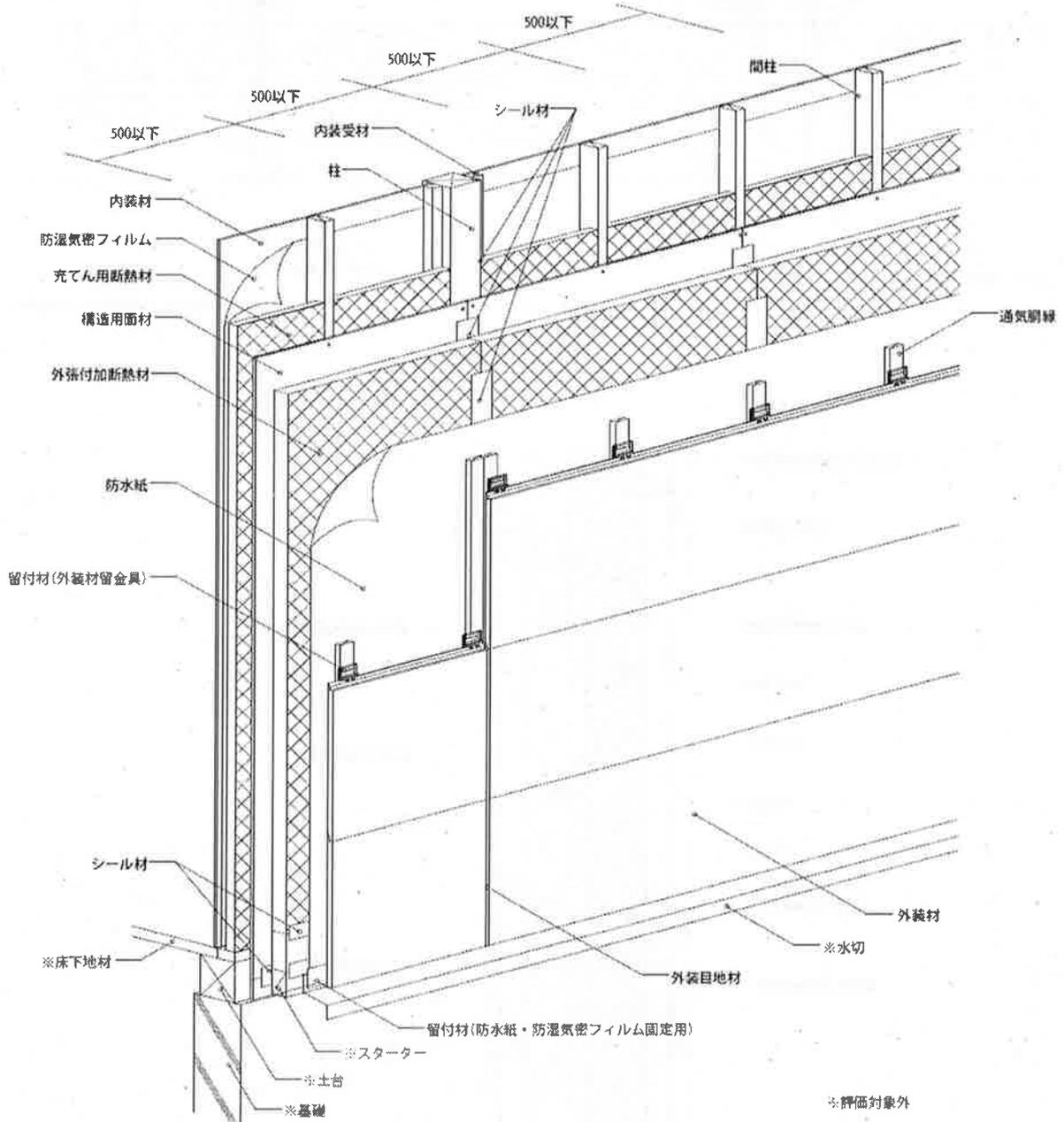
鉛直断面図

図 2 構造説明図

(別添-12)

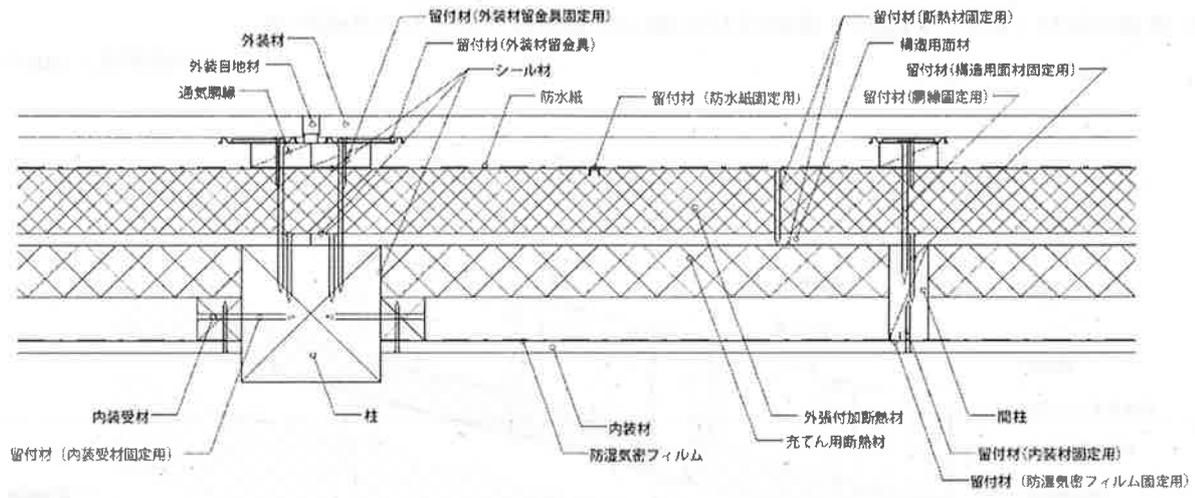
(2) 構造用面材：あり、内装材：真壁(受材仕様(1))、断熱材：充てん+外張付加

(寸法単位：mm)

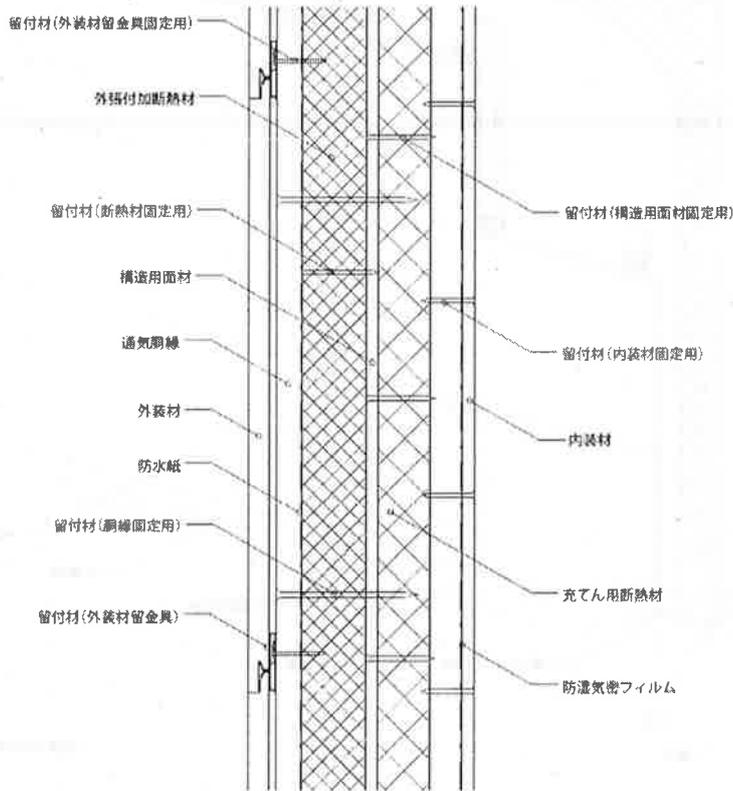


透視図

図 3 構造説明図



水平断面図



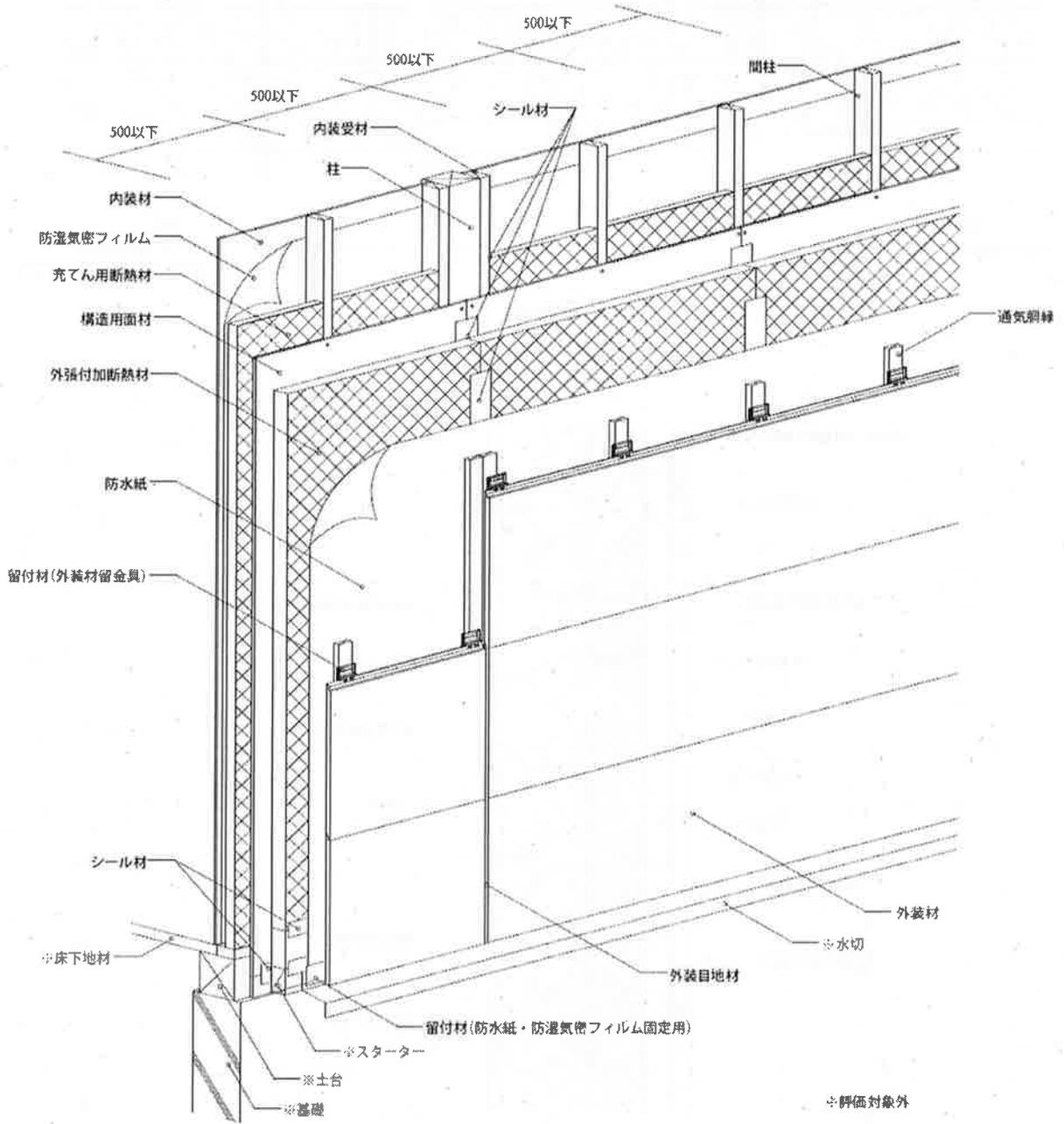
鉛直断面図

図4 構造説明図

(別添-14)

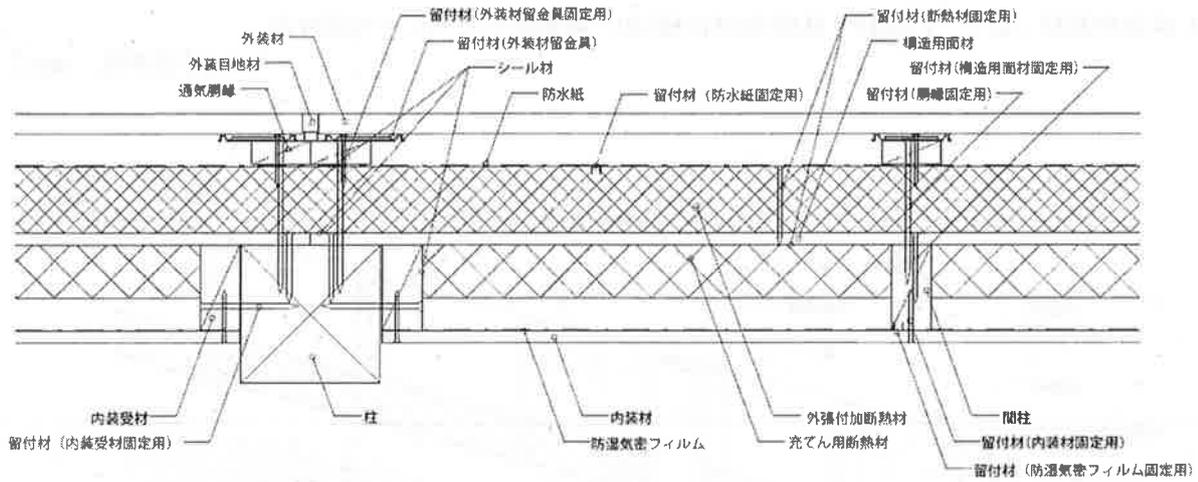
(3) 構造用面材：あり、内装材：真壁(受材仕様(2))、断熱材：充てん+外張付加

(寸法単位：mm)

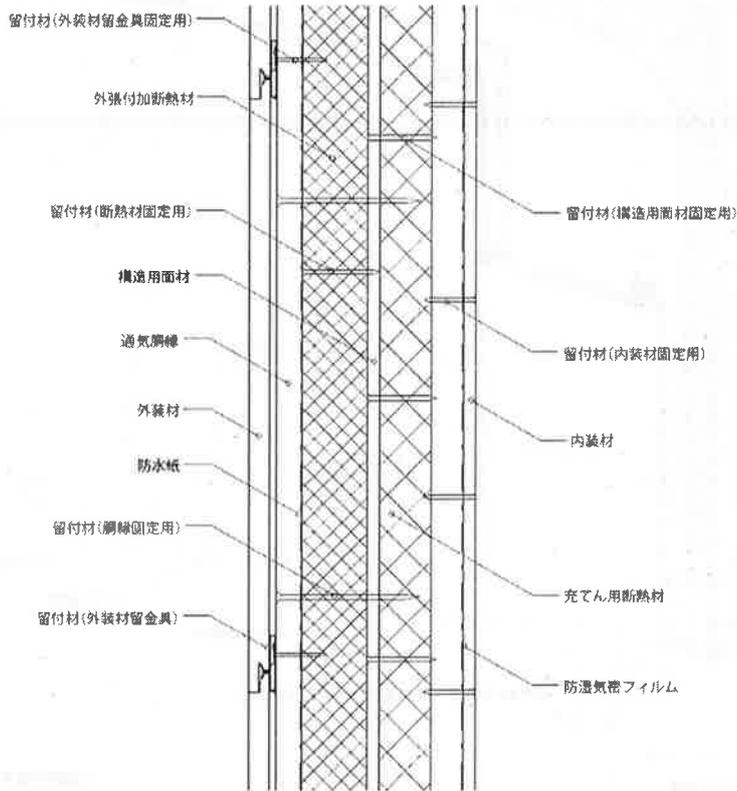


透視図

図5 構造説明図



水平断面図

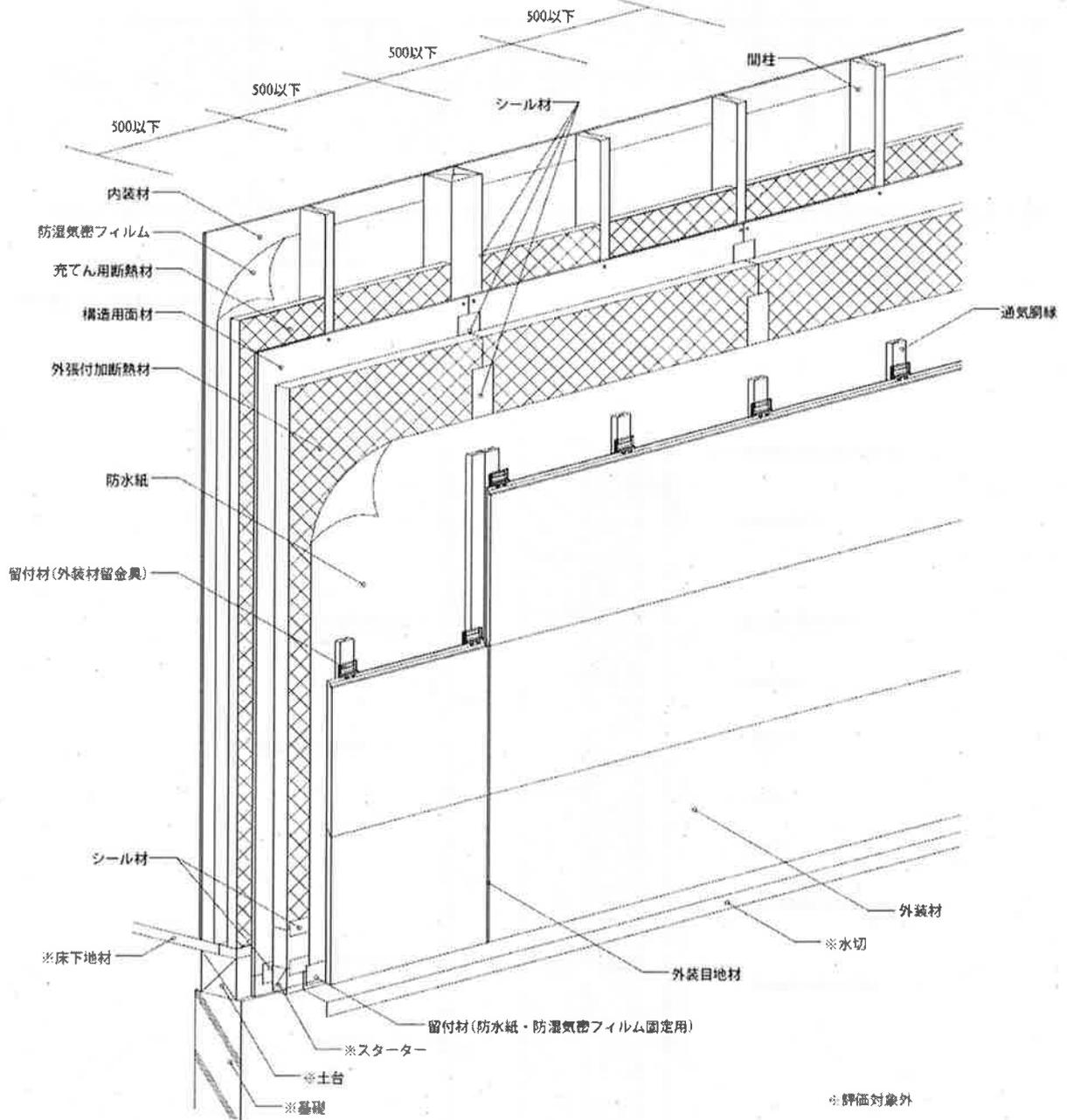


鉛直断面図

図6 構造説明図

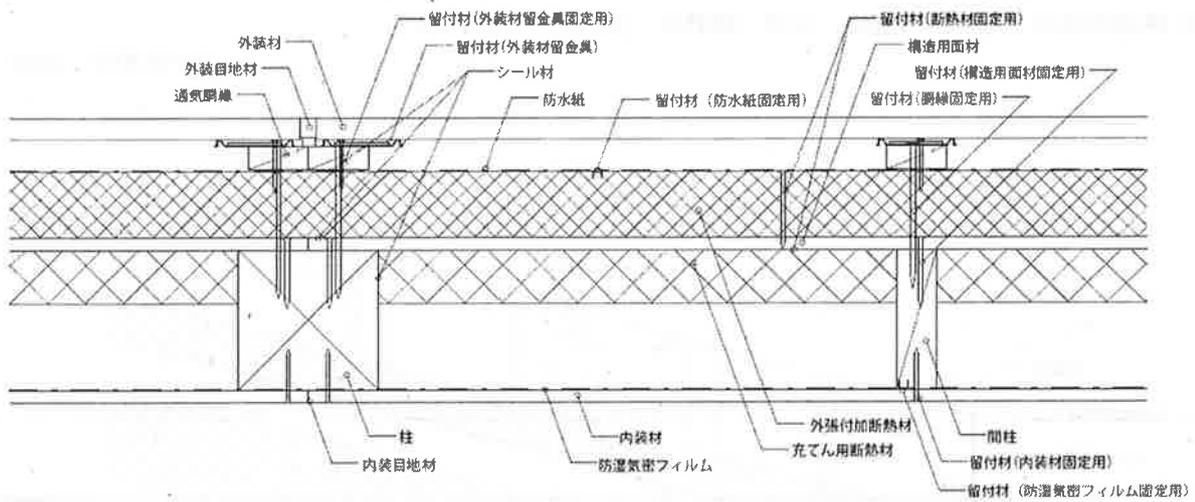
(4) 構造用面材：あり、内装材：大壁、断熱材：充てん+外張付加

(寸法単位：mm)

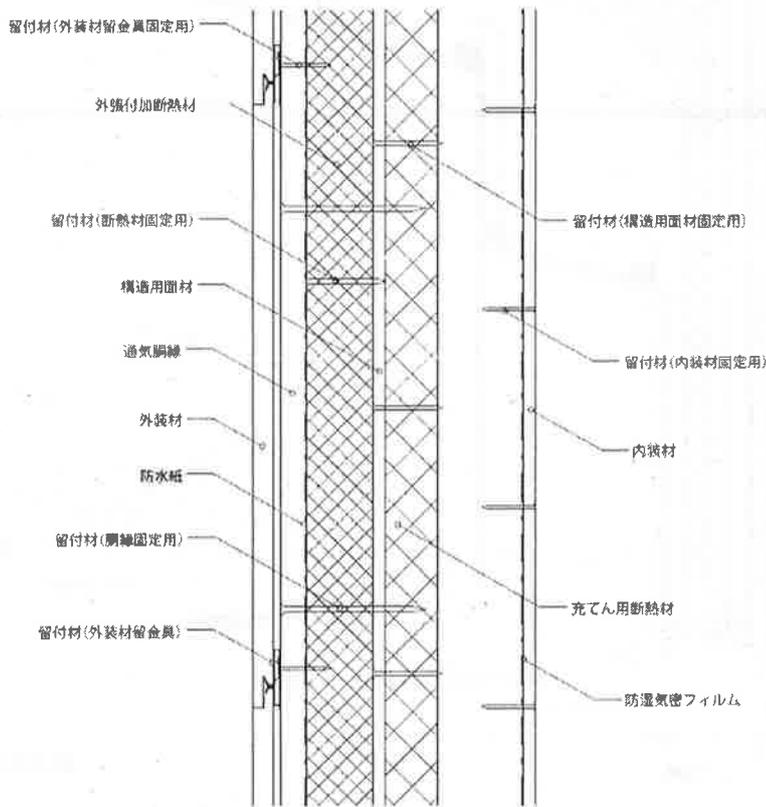


透視図

図 7 構造説明図



水平断面図



鉛直断面図

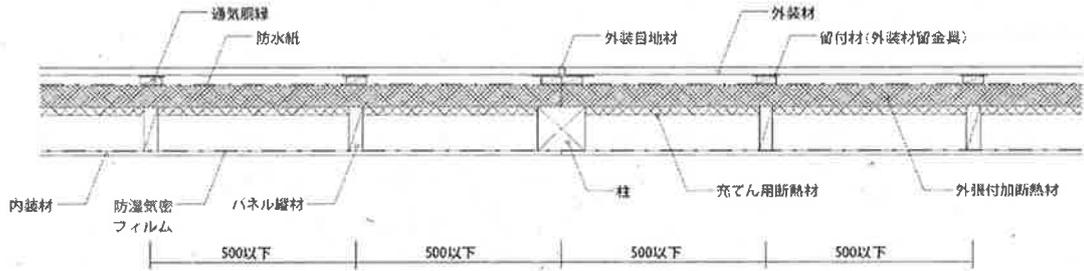
図8 構造説明図

5. 施工方法等

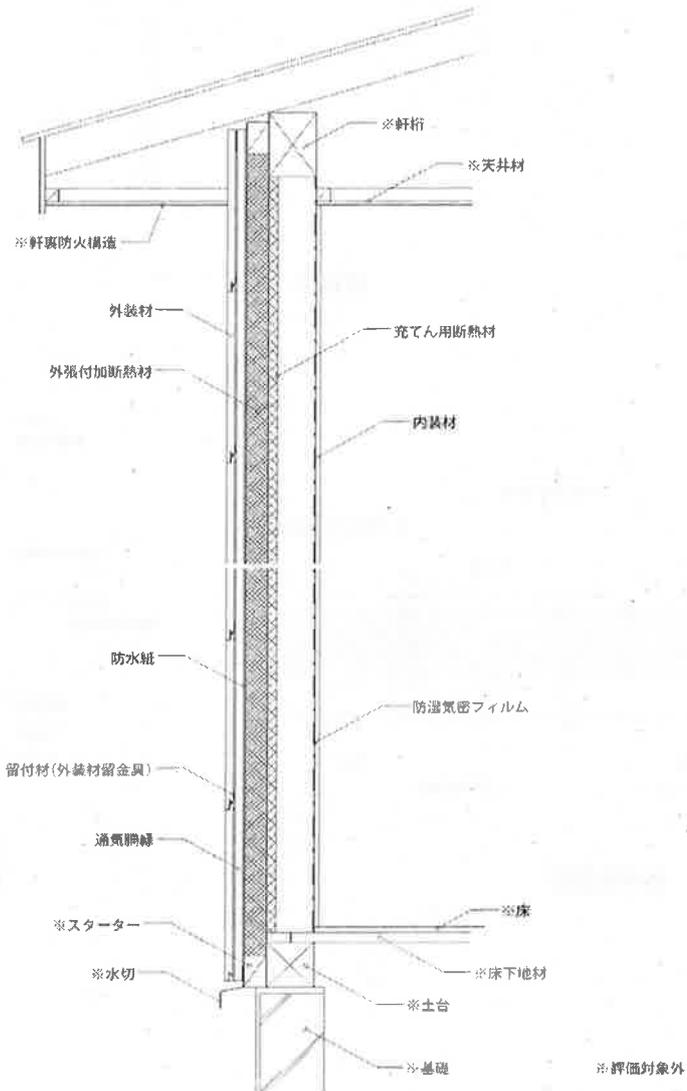
<施工図>

図9～13に施工図を示す。

(寸法単位：mm)



水平断面図



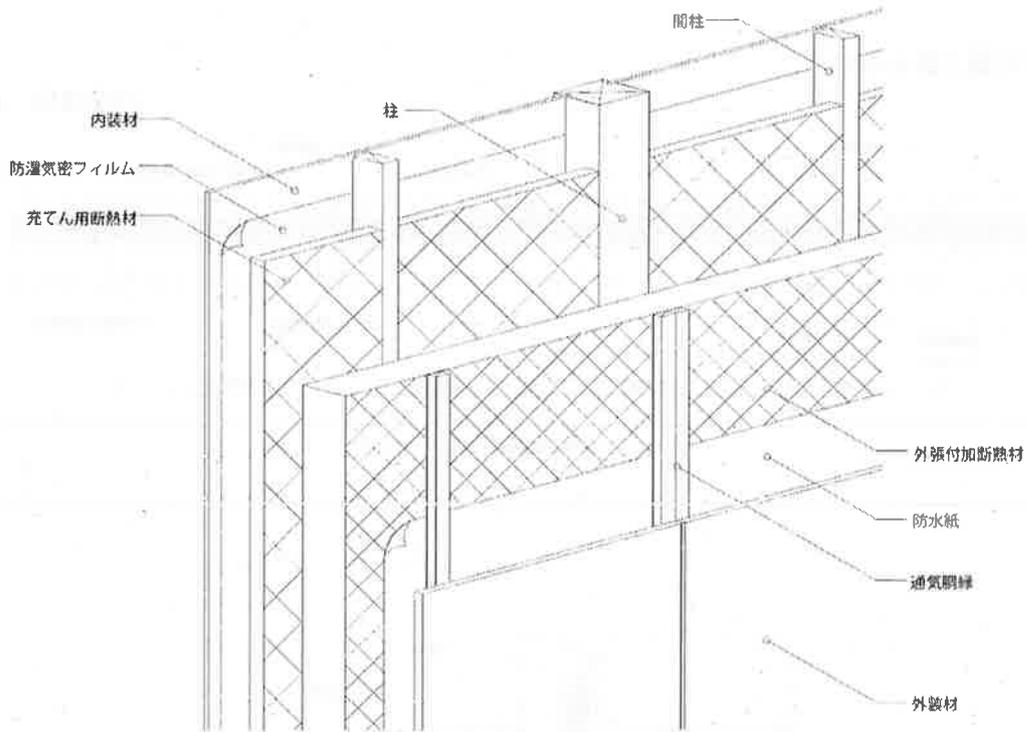
鉛直断面図

充てん+外張付加断熱の施工例

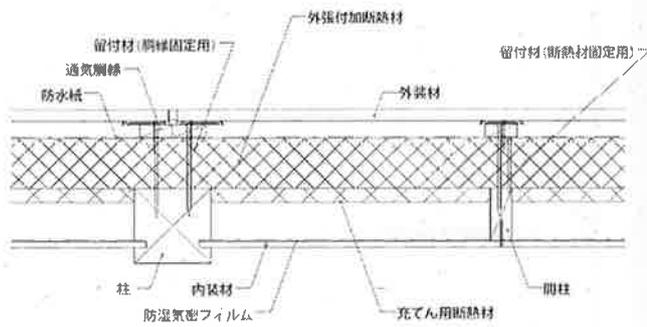
図9 施工図

(別添-19)

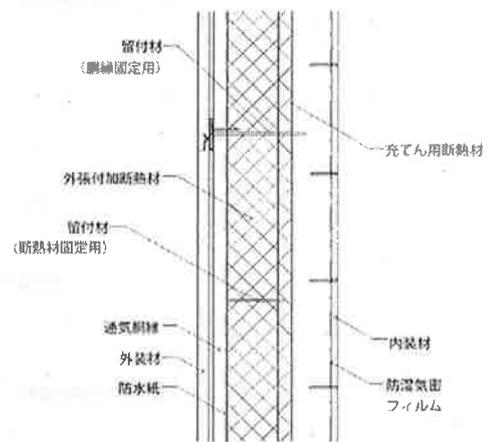
<外張付加断熱材の納まり例①：外張付加断熱材厚さ 105mm 以下>



透視図



水平断面図

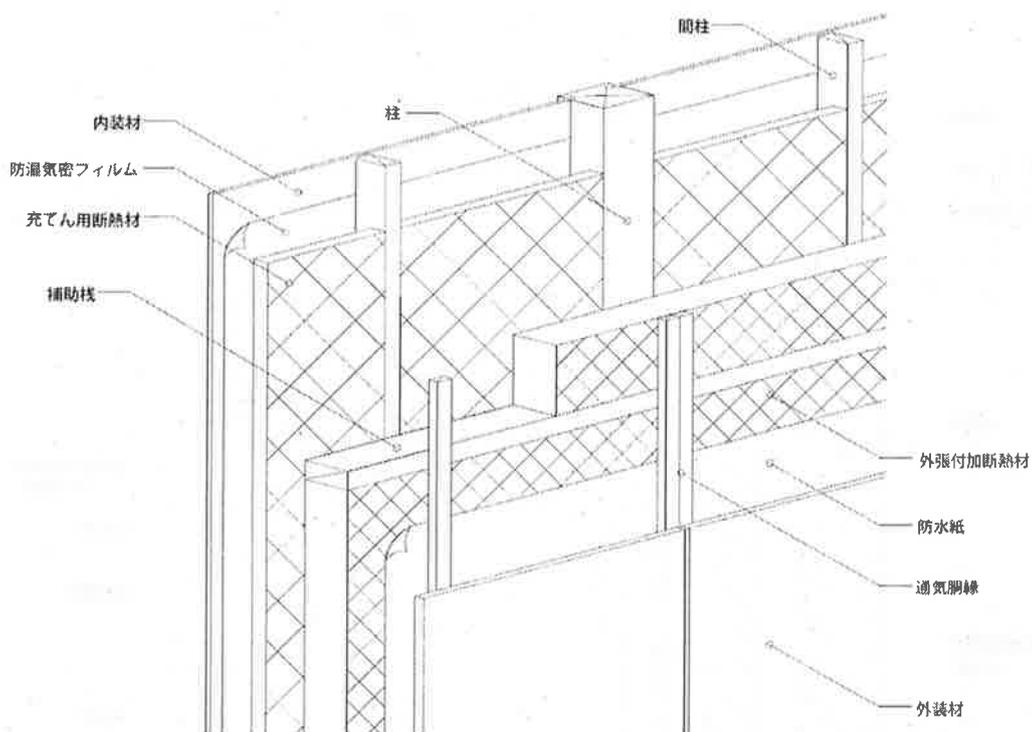


鉛直断面図

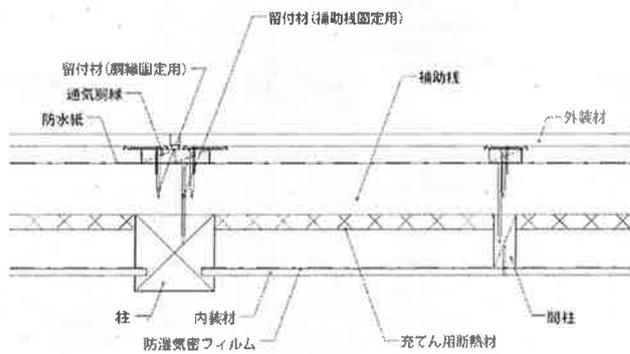
図 10 施工図

(別添-20)

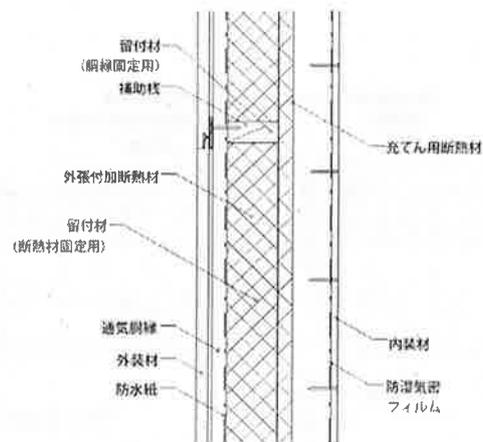
＜外張付加断熱材の納まり例②：外張付加断熱材厚さ 105mm 以下＞



透視図



水平断面図



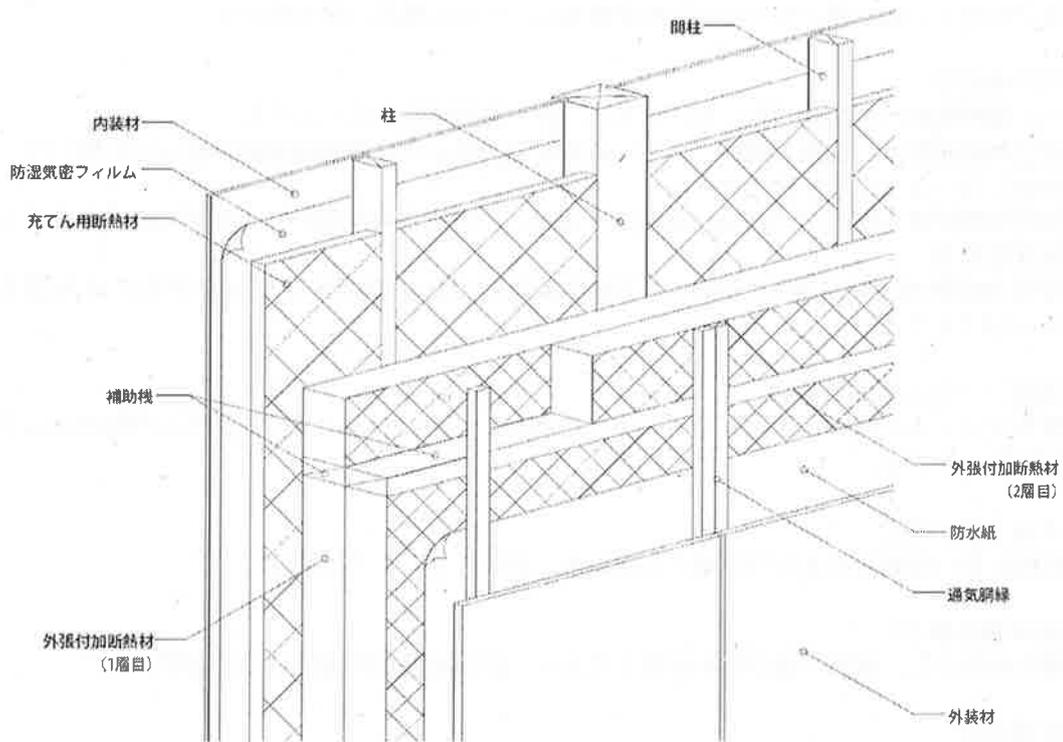
鉛直断面図

図 11 施工図

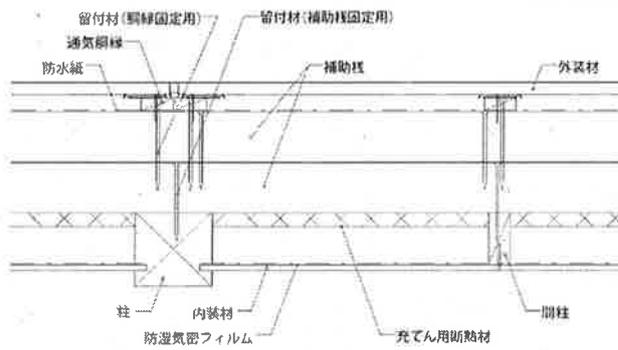
(別添-21)



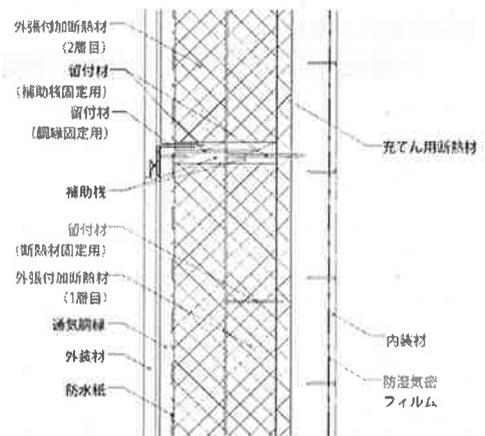
<外張付加断熱材の納まり例④：外張付加断熱材厚さ 105mm を超えて 210mm 以下>



透視図



水平断面図



鉛直断面図

図 13 施工図

< 施工手順 >

(1) 下地組等

柱及び間柱は、反り曲がりのないものを使用し、土台に垂直に取り付ける。

(2) 断熱材の取付け

充てん用断熱材は、隙間が生じないように、柱・間柱間等に充てんする。

外張付加断熱材は、柱及び間柱、あるいは構造用面材の上に断熱材固定用留付材を用いて、隙間が生じないように取り付ける。

外張付加断熱材の厚さが 105mm を超える場合、下地胴縁等を用いて外装材支持力が低下しない処置を施す。

外張付加断熱材を施工する場合は、下地胴縁及び通気胴縁固定用留付材の埋め込み深さを 40mm 以上とする。

(3) 防湿気密フィルムを張る場合

防湿気密フィルム固定用留付材を用いて、たるみやしわのないように、充てん用断熱材より室内側に取り付ける。

(4) シール材を貼る場合

断熱材あるいは構造用面材の目地の上部から、剥がれないように貼る。

(5) 防水紙を張る場合

横張を原則とし、所定の重ね代を確保した上で、防水紙固定用留付材で仮固定する。

(6) 胴縁の取付け

断熱材の上に、胴縁固定用留付材を用いて取り付ける。

(7) 外装材の取付け

目地にずれが生じないように、外装材留金具、外装材留金具留付材を用いて取り付ける。

(8) 内装材の取付け

内装材用留付材を用い、柱及び間柱等に取り付ける。